



山から海へ
まちを縫い合わせる
緑のミュージアムロード

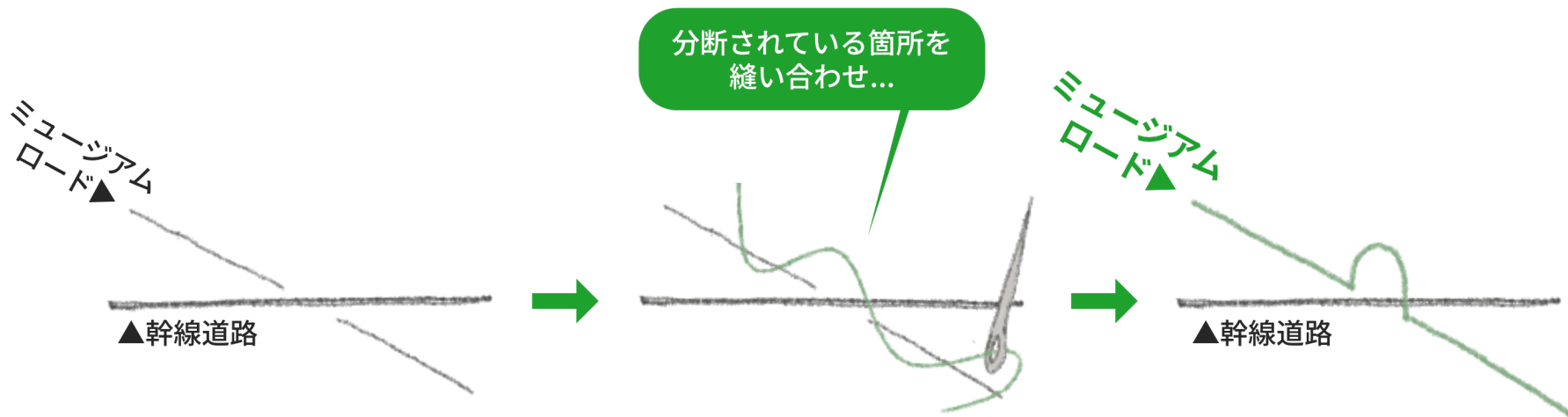
登録番号59



目次

1. コンセプト
2. 現状について
3. 提案の方針
4. 9つのアイデアについて
5. 未来のシナリオ案

コンセプト

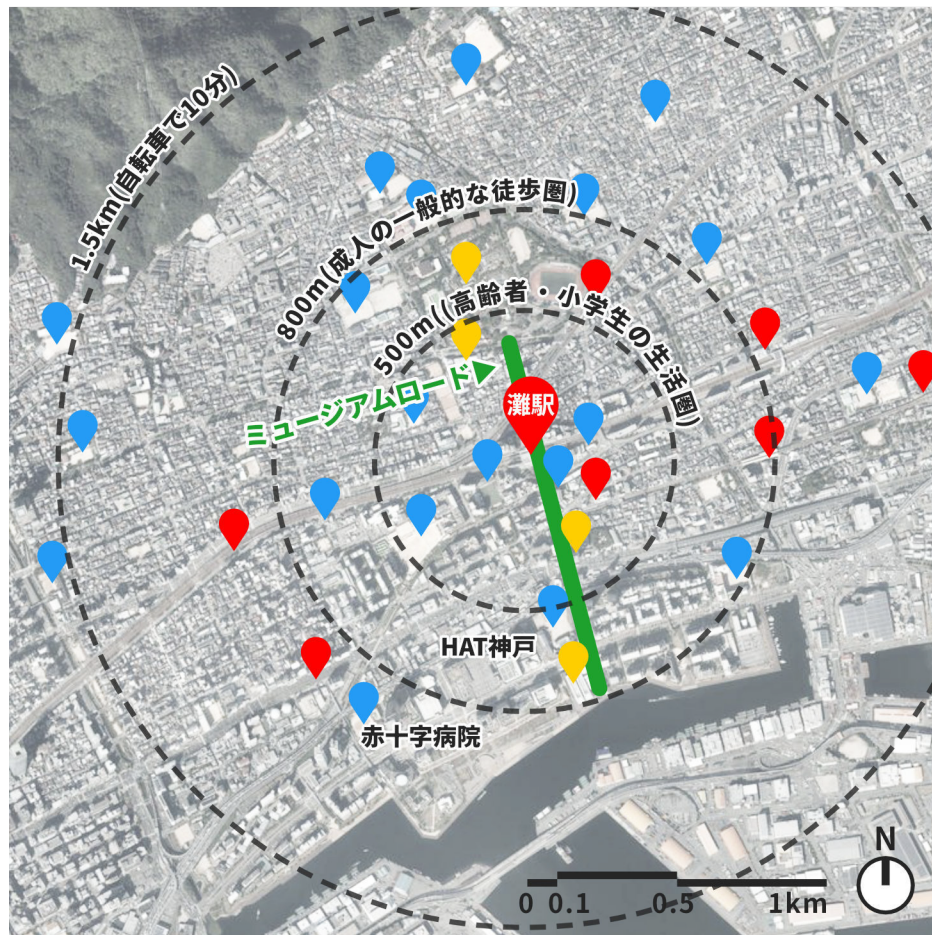


課題：

東西方向の大きな幹線道路・線路により
ミュージアムロードが分断されている...

提案：

ミュージアムロードを、エリアの
都市軸となる緑豊かな公共空間に！



凡例

 : ミュージアムロード


 : 線路


 : 道路

 : 遊歩道・商店街

 : 駅

 : 文化施設

 : 教育施設

 : 水域

 : 緑地

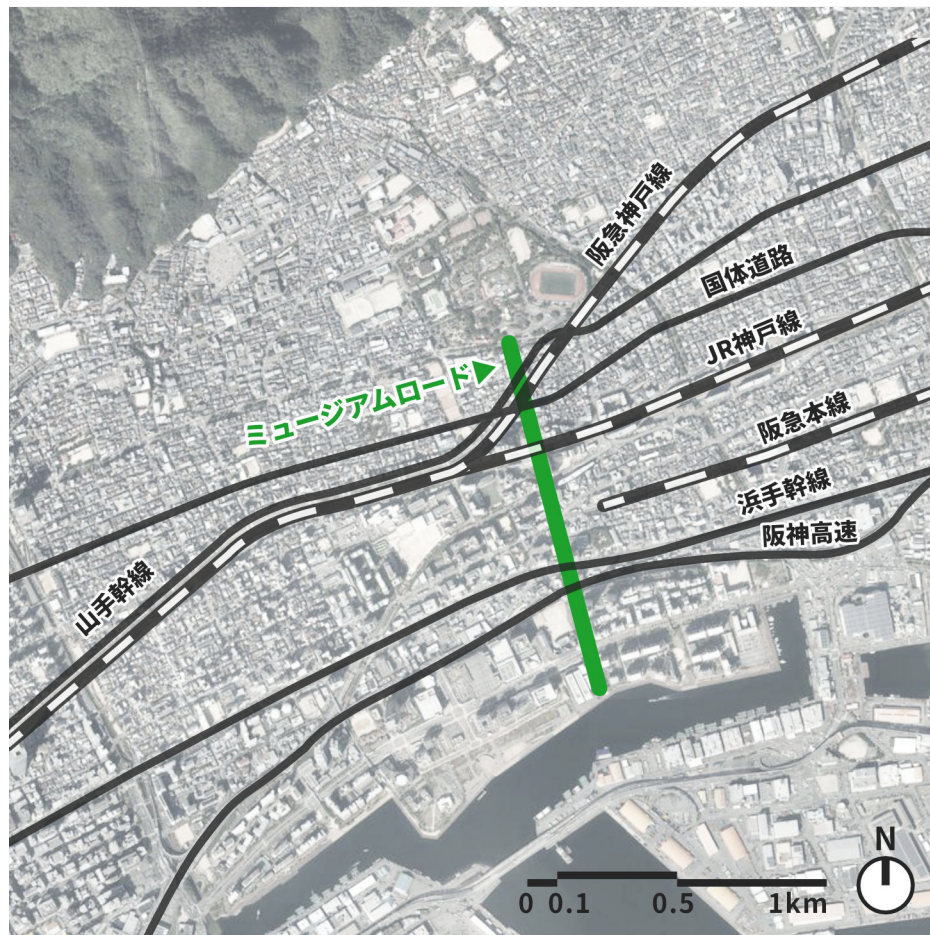
※国土地理院撮影の空中写真（2021年撮影）を加工して作成



※国土地理院撮影の空中写真（2021年撮影）を加工して作成

凡例

-  : ミュージアムロード
-  : 線路
-  : 道路
-  : 遊歩道・商店街
-  : 駅
-  : 文化施設
-  : 教育施設
-  : 水域
-  : 緑地



※国土地理院撮影の空中写真（2021年撮影）を加工して作成

凡例

——— : ミュージアムロード

——— : 線路

——— : 道路

——— : 遊歩道・商店街

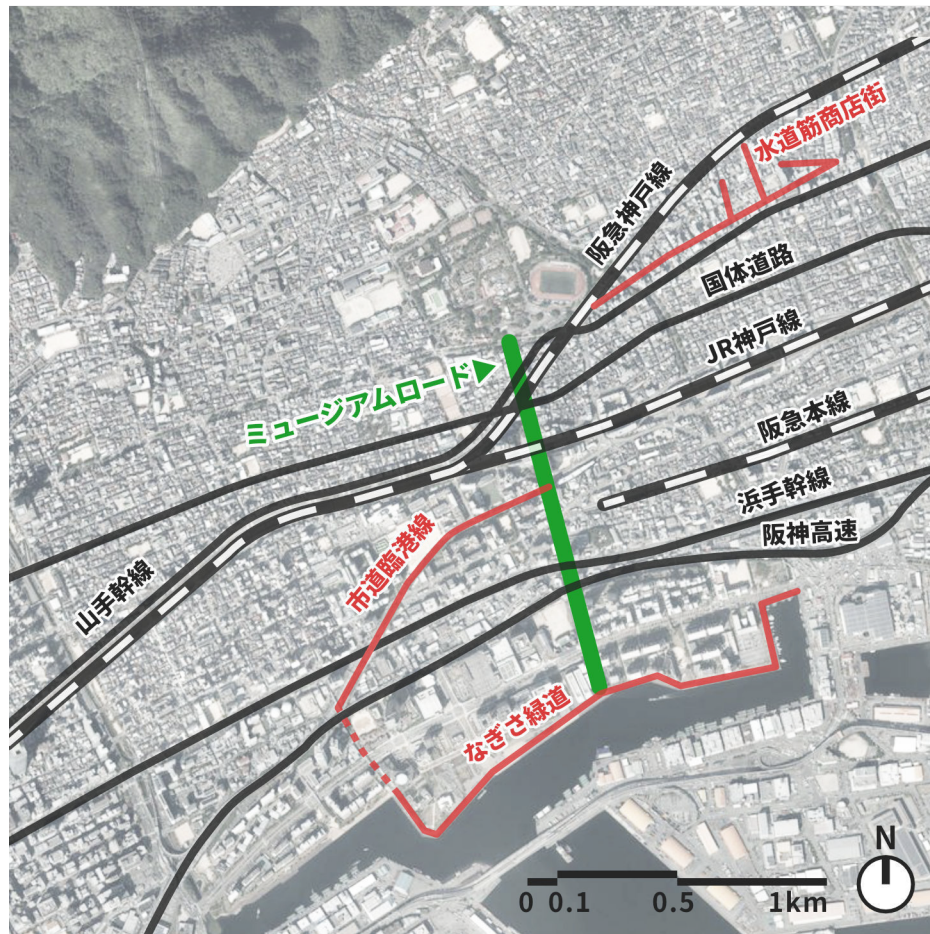
📍 : 駅

📍 : 文化施設

📍 : 教育施設

■ : 水域

■ : 緑地



※国土地理院撮影の空中写真（2021年撮影）を加工して作成

凡例

 : ミュージアムロード

 : 線路


 : 道路

 : 遊歩道・商店街

 : 駅

 : 文化施設

 : 教育施設

 : 水域

 : 緑地

3つの観点

9つのアイデア

A 歩いて楽しいまちづくり

徒歩圏に点在する文化施設を結ぶ道路として
歩行者の**通行 (LINK)** 機能を強化

B 市民が滞在・活動できる公共の居場所づくり

道路内の**滞留 (PLACE)** 機能を強化

C 快適な屋外空間づくり

摩耶山～大阪湾をつなぐ
緑のネットワークとして整備

① 歩行者のための道路空間づくり

② 滞留・通行空間としての歩道橋

③ 市民が参加できる公共の場づくり

④ 移動手段を増やすマイクロモビリティ

⑤ 道の一体感を演出する、連続した舗装

⑥ まちへの滞留を促す小さな居場所

⑦ まちを維持する「ミニ・インフラハブ」

⑧ 海と山をつなぐ緑のネットワーク

⑨ 緑のインフラとしてのまちなかピオトープ



9つのアイデアについて

1 歩行者のための道路空間づくり



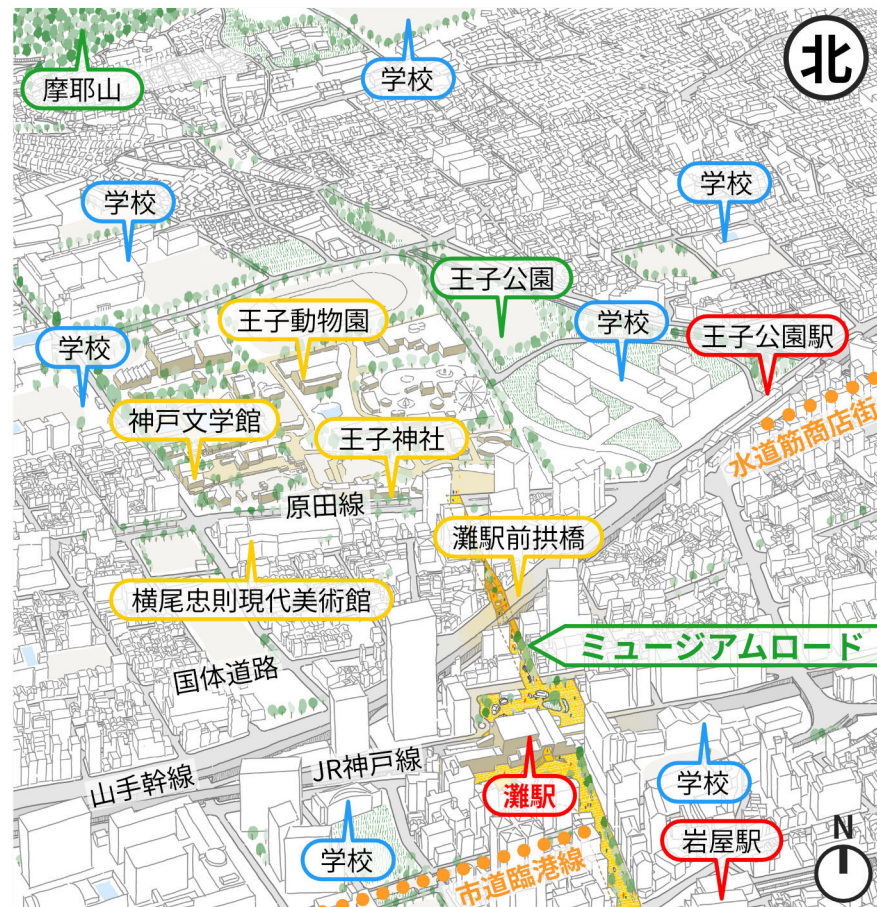
灘駅より南側

A 通行

B 滞留

C 緑のネットワーク

4. 9つのアイデア



灘駅より北側

1 歩行者のための道路空間づくり

A 通行

B 滞留

C 緑のネットワーク

4. 9つのアイデア



健康のために
トレーニング機器
で体を動かそう！

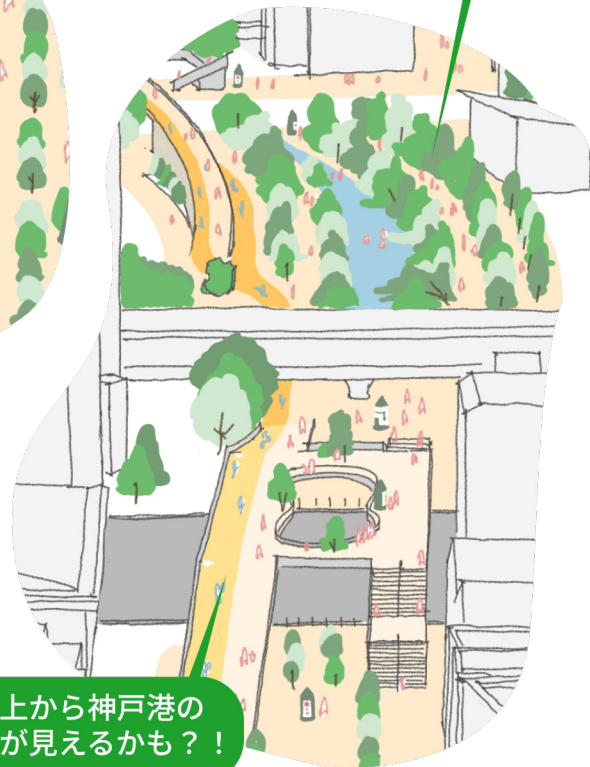
遊具があるから幼稚園の帰りは
ミュージアムロードを通るよ。



車が通らないから
静かに過ごせる！



山から海までのランニングは
景色もよくて気持ちいいなあ。



今日の学校の課外授業は
ミュージアムロードの
生き物観察！

歩道橋の上から神戸港の
花火大会が見えるかも？！

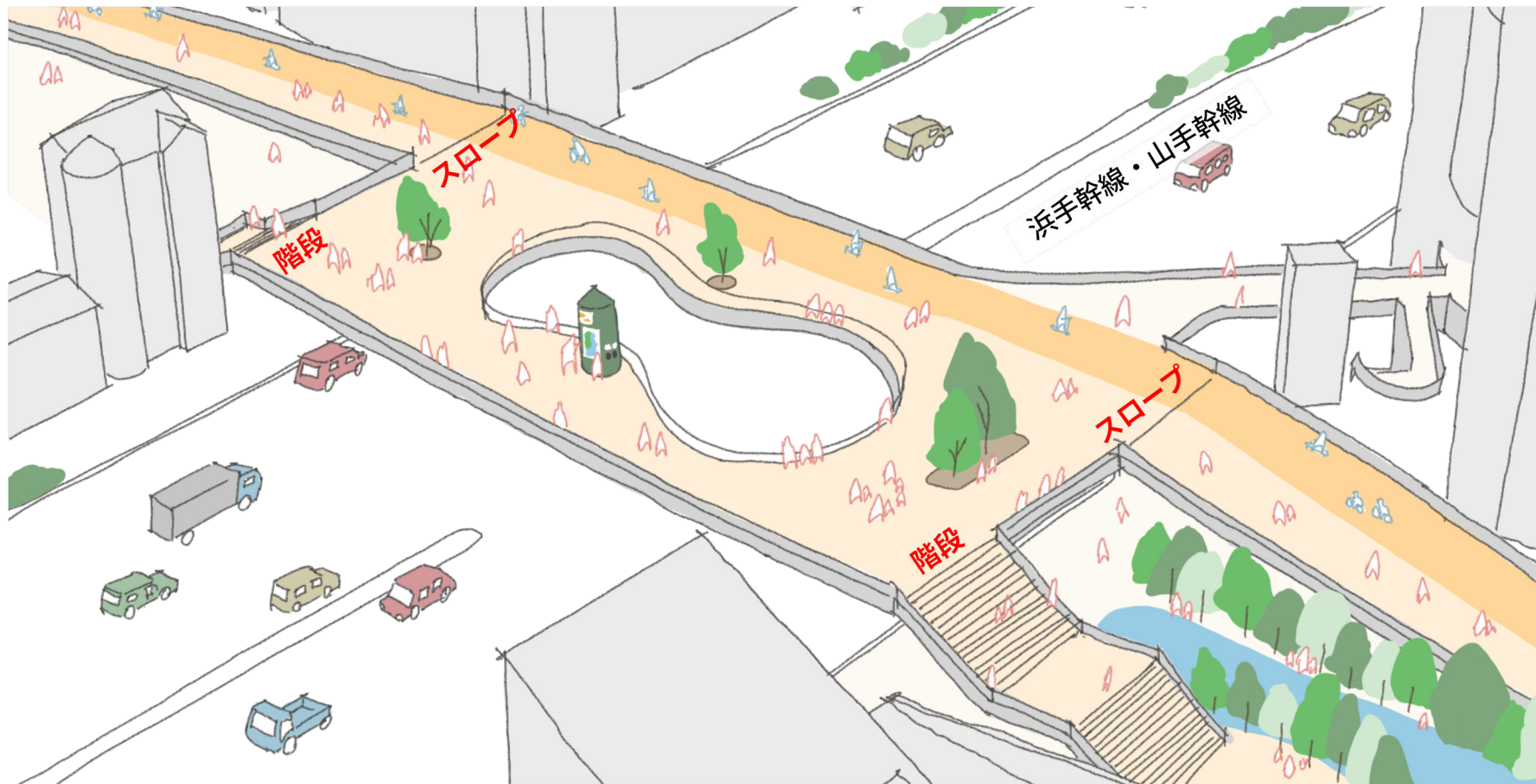
2 滞留・通行空間としての歩道橋

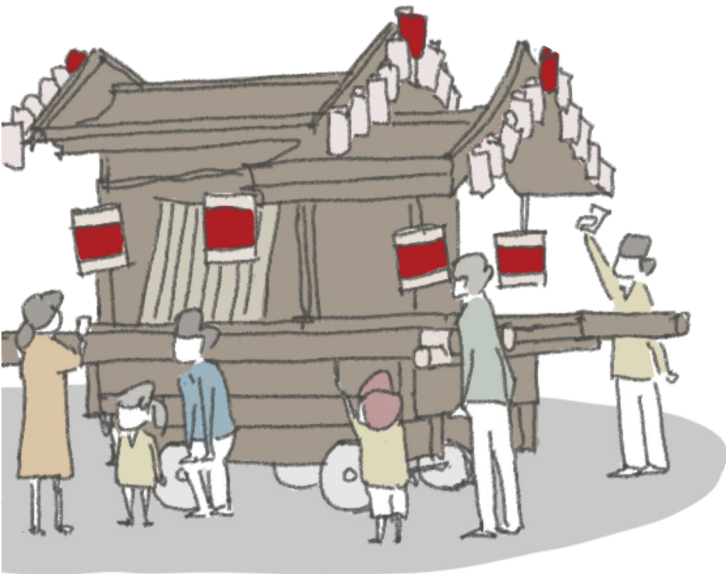
A 通行

B 滞留

C 緑のネットワーク

4. 9つのアイデア





▲地車まつりの山車



▼アートイベント



フードイベント▶



▲ミニカー



▲電動キックボード



▲電動車いす



▲電動アシスト自転車

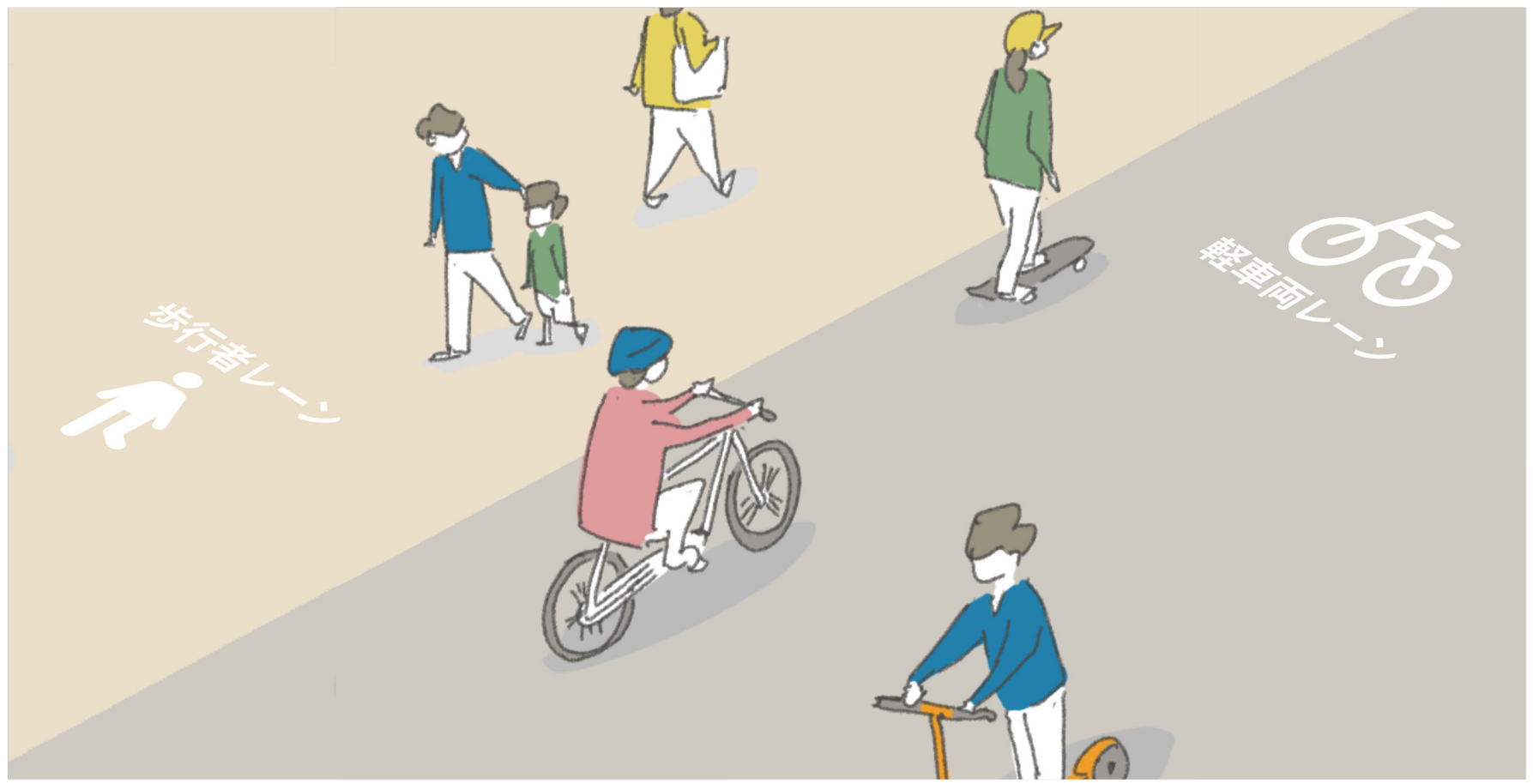
F 道の一体感を演出する、連続した舗装

A 通行

B 滞留

C 緑のネットワーク

4. 9つのアイデア





◀スケボーパーク



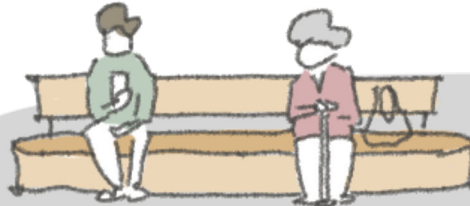
▼遊具



▼健康遊具



▼ベンチやカウチ



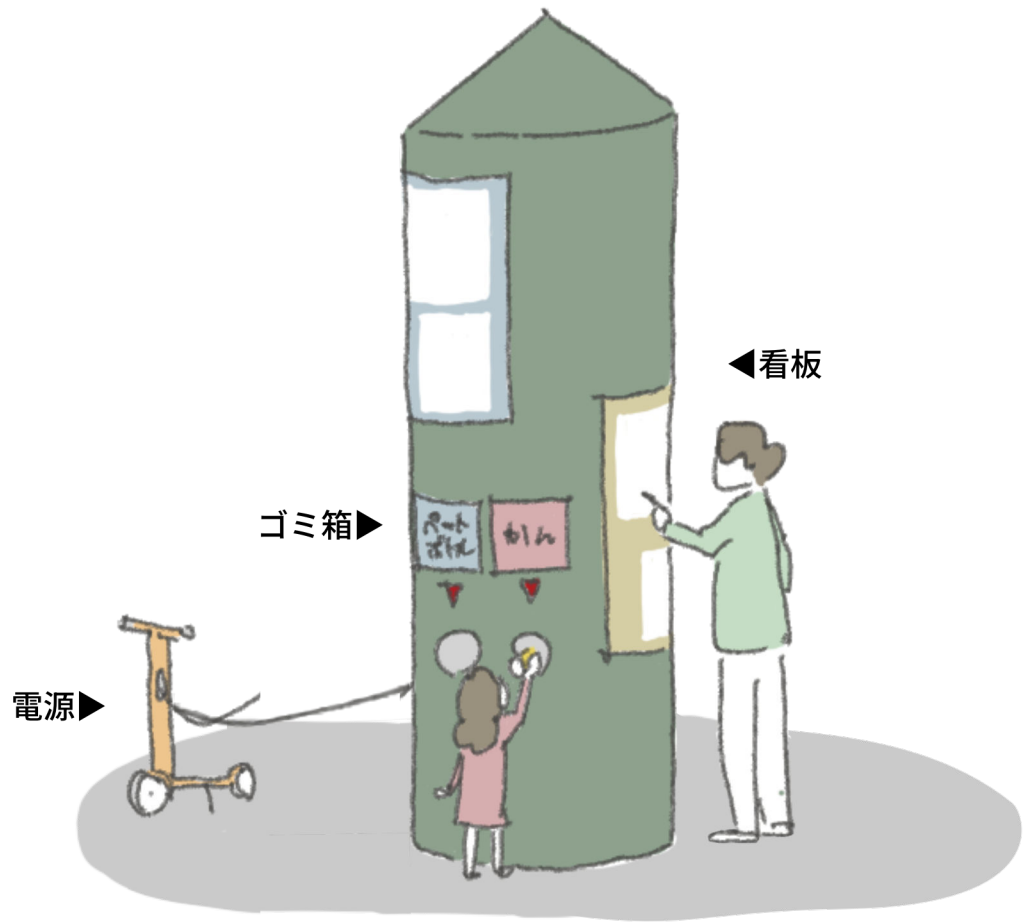
7 まちを維持する「ミニ・インフラハブ」

A 通行

B 滞留

C 緑のネットワーク

4. 9つのアイデア



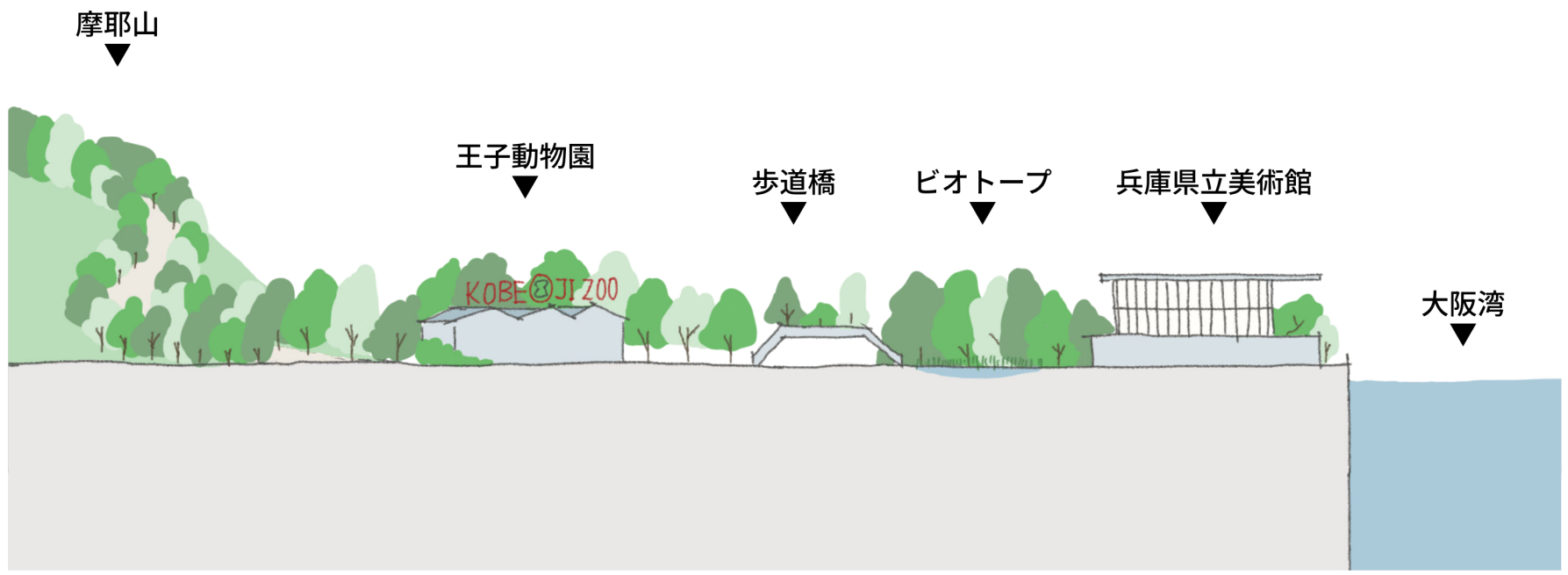
8 海と山をつなぐ緑のネットワーク

A 通行

B 滞留

C 緑のネットワーク

4. 9つのアイデア

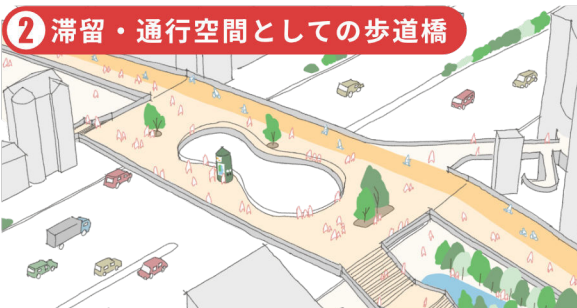




① 歩行者のための道路空間づくり



② 滞留・通行空間としての歩道橋



③ 市民が参加できる公共の場づくり



④ 移動手段を増やすマイクロモビリティ



⑤ 道の一体感を演出する、連続した舗装



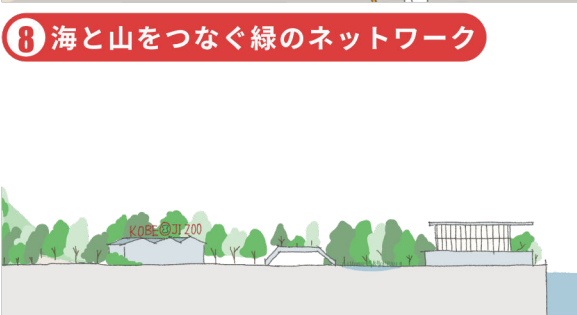
⑥ まちへの滞留を促す小さな居場所



⑦ まちを維持する「ミニ・インフラハブ」



⑧ 海と山をつなぐ緑のネットワーク



⑨ 緑のインフラとしてのまちなかビオトープ





未来のシナリオ案

PHASE I

社会実験を通してミュージアムロードがまちの軸になり得るかを検証

- ① 歩行者のための道路空間づくり
- ③ 市民が参加できる公共の場づくり

PHASE II

市民との対話から、小さな居場所をつくって実践を重ねる

- ⑥ まちへの滞留を促す小さな居場所

PHASE III

インフラ更新に合わせ、風景を変えていく

- ② 滞留・通行空間としての歩道橋
- ⑤ 道の一体感を演出する、連続した舗装

PHASE IV

ミュージアムロードを歩行者のための空間へ。まちの構造を転換する

- ① 歩行者のための道路空間づくり
- ④ 移動手段を増やすマイクロモビリティ
- ⑦ まちを維持する「ミニ・インフラハブ」

PHASE V

緑のネットワークの完成。環境リスクの緩和へ

- ⑧ 海と山をつなぐ緑のネットワーク
- ⑨ 緑のインフラとしてのまちなかバイオトープ

PHASE I

2025
 ●
 ●
 ●
 2030
 ●
 ●
 ●
 2035
 ●
 ●
 ●
 2040
 ●
 ●
 ●
 2045
 ●
 ●
 ●
 2050
 ●
 ●
 ●
 2055
 ●
 ●
 ●
 2060

社会実験を通してミュージアムロードがまちの軸になり得るかを検証

① 歩行者のための道路空間づくり

休日に歩行者天国を実施し、交通量や沿道エリアへの影響を確認する。



渋谷区・新宿通り



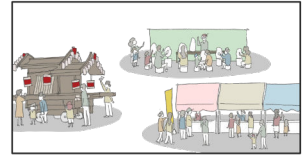
ワルシャワ・新世界通り

PHASE I

2025
社会実験を通してミュージアムロードがまちの軸になり得るかを検証

③ 市民が参加できる公共の場づくり

2030
地車まつりや神戸港の花火大会などの地域のお祭りや、
歩行者天国時にイベントを行い、地域との関係を強化する。



2050
2055
2060

ミュンヘン・ノイウハウザー通りの
クリスマスマーケット



台東区・鳥越まつり



おおあさ 江別市・
大麻銀座商店街のブックストリート

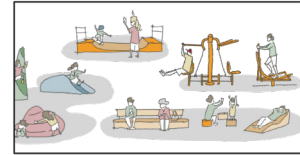
PHASE II

2025
.
.
.
2030
.
.
.
2035
.
.
.
2040
.
.
.
2045
.
.
.
2050
.
.
.
2055
.
.
.
2060

市民との対話から、小さな居場所をつかって実践を重ねる

⑥ まちへの滞留を促す小さな居場所

沿道にベンチや遊具を設置。



タルトゥ・
エマヨギ川のベンチ



マンチェスター・セント
ピーターズスクエアのベンチ



千代田区・
TOKYO TORCH Parkの遊具



メルボルン・ヴィクトリア
州立図書館前のチェス盤

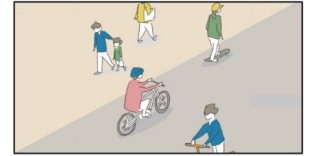
PHASE III

2025
.
.
.
2030
.
.
.
2035
.
.
.
2040
.
.
.
2045
.
.
.
2050
.
.
.
2055
.
.
.
2060

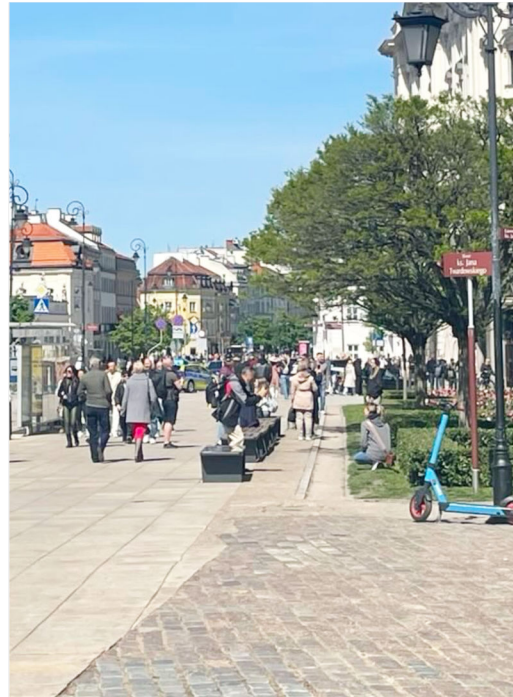
インフラ更新に合わせ、風景を変えていく

⑤ 道の一体感を演出する、連続した舗装

石畳やインターロッキングなど視覚的に楽しい舗装に交換し、歩車道間の段差を無くす。



プラハ・アンデル駅前広場



ワルシャワ・クラクフ郊外通り



前橋市・馬場川通り

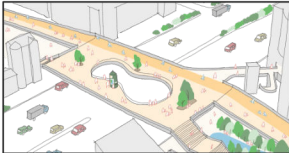
PHASE III

2025
.
.
.
2030
.
.
.
2035
.
.
.
2040
.
.
.
2045
.
.
.
2050
.
.
.
2055
.
.
.
2060

インフラ更新に合わせ、風景を変えていく

② 滞留・通行空間としての歩道橋

山手幹線、浜手幹線上も歩行空間の一部となることで
ミュージアムロードをシームレスに利用できるようにする。



渋谷区・MIYASHITA PARK

PHASE IV

2025
.
.
.
2030
.
.
.
2035
.
.
.
2040
.
.
.
2045
.
.
.
2050
.
.
.
2055
.
.
.
2060

ミュージアムロードを歩行者のための空間へ。まちの構造を転換する

① 歩行者のための道路空間づくり

ミュージアムロードから車道を廃止、歩行者優先道路に変更。



バルセロナ・ガウディ通り

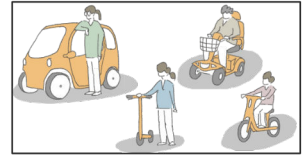
PHASE IV

2025
.
.
.
2030
.
.
.
2035
.
.
.
2040
.
.
.
2045
.
.
.
2050
.
.
.
2055
.
.
.
2060

ミュージアムロードを歩行者のための空間へ。まちの構造を転換する

④ 移動手段を増やすマイクロモビリティ

2輪～4輪まで、複数種類を段階的に導入する。



クラクフ・ヴィスワ川沿いの遊歩道

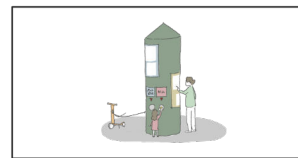
PHASE IV

2025
.
.
.
2030
.
.
.
2035
.
.
.
2040
.
.
.
2045
.
.
.
2050
.
.
.
2055
.
.
.
2060

ミュージアムロードを歩行者のための空間へ。まちの構造を転換する

⑦ まちを維持する「ミニ・インフラハブ」

案内・美化・給電の機能を併せ持つハブを設置。



ウィーン



サンセバスチャン・ラ コンチャ海岸



クラクフ・スウォヴァツキ劇場前のバス

PHASE V

2025
●
●
●
2030
●
●
●
2035
●
●
●
2040
●
●
●
2045
●
●
●
2050
●
●
●
2055
●
●
●
2060

緑のネットワークの完成。環境リスクの緩和へ

⑨ 緑のインフラとしてのまちなかビオトープ

歩道の更新に合わせ、道路上にビオトープをつくり、親水空間として維持する。



渋谷区・代々木公園の池



八千代市・いしいさんの庭



山から海へ
まちを縫い合わせる
緑のミュージアムロード

登録番号59